

信州川中島平農産物ブランド構築事業

取組に至る背景・事業の目的

長野市川中島周辺地域は、白桃を中心とした農産物の宝庫であるが、農家の高齢化等により地域を代表する品種である川中島白桃の生産量が低下し、廃業を考える農家が増えている。そこで、広く県内外に「川中島白桃ブランド」をアピールする活動を行うとともに、新しい商品を農家・市民と共に楽しみながら構築する活動を行う。

事業内容

川中島白桃を始めとした、地域の他の農産物類（りんご、シャインマスカット、ナガノパープル、ブルーベリー、ラ・フランス、銀杏など）を加工原料として、これまで特に価格を低く設定されてきた「ハネ出し（規格外）」を用い、農産物の有効活用を図った。

開発した加工商品は、全国的にもまだ未開拓な部門の「ジュレ」や川中島平産にこだわった果物2種類をミックスして作る「コンフィチュール」、素材本来の美味しさを最大限に引き出せる「ドライフルーツ」などで、色々な素材を使い農家とパティシエと年数回、研究会を開催し相談しながら様々な取組を行った。

また、ブランドイメージの統一化を図るためにポスター・POP・のぼり旗を製作したほか、販路開拓のための新商品発表会や商品商談会を実施した。

事業効果

「ハネ出し（規格外）」を用い加工商品を作ることで生産農家の意欲向上につながった。また桃農家を中心に、りんご農家、ブルーベリー農家、銀杏農家など、多種多様な生産者が参加して生産加工のスペシャリストとの意見交換会を開催したことで、農家間の情報共有やさらなる長野の農産物の地位向上を図ることができた。勉強会（意見交換会）は、回を重ねる毎に参加者が増え、農家以外に多種多様な業種（住民・販売・行政・酒造メーカーなど）の方が参加され、活発な話し合いになった。



【商品開発の様子】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

長野県は農産物の宝庫である一方、農家の高齢化や後継者不足による農地の減少など、生産量の低下や、廃業を余儀なくされる農家が増えている。その中でも貴重な地域資源を守るため、地域資源を見直したり、グループを作り生産技術を高めようと日夜努力をする農家も存在するが、加工品や販路まで手が回らないのが現状。その中でどうすることが、農家だけでなく地域の為になるか検討を行い、地域住民の手で商品開発の話し合いや地域資源を生かせる商品化に向けて取組を行っていく。

【選定のポイント】

生産者等と協働により地域資源を活用した商品価値の高い加工品を商品化し、農家の意欲向上に繋がった。また、農産物グループとの協働による商品開発などに取り組んでおり、事業効果の広がりや、地元農産物に付加価値をつけた商品づくりの新しいビジネスモデルとなることが期待できる。

団体名	特定非営利活動法人 信州・川中島平ファクトリー（長野市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	026-293-3600	事業費	1,615,075円
メールアドレス	c-f@grn.janis.or.jp	支援金額	1,615,000円
ホームページ	http://npo-skdf.com/		